

1. 名寄市と生薬・特用作物の歴史

【名寄市史より】

戦前から工芸作物とも呼ばれ、製造工業の原料とする目的で栽培される特用作物は、戦後の名寄では作物によりその消長が著しくなる。

昭和 10 年代には市内で 800 畝を超える作付けがあった蚊取線香の原料となる除虫菊は、人工的に合成された化学薬品などの進出で昭和 16 年頃から減少し始めた。昭和 25 年頃からは 200 畝前後し、昭和 30 年の 183 畝を最後に統計から消えている。

亜麻も、昭和 17 年まで市内で 150 畝を超える作付けがあり、昭和 19 年には 300 畝を超えたが、その後合成繊維の進出で昭和 23 年以降 100 畝台となり、昭和 30 年からは 100 畝以下の年が多くなった。

それでも名寄では、帝国繊維(株)の名寄製線工場が操業していたため、同工場が操業を停止する昭和 40 年代まで 100 畝前後の作付けがあった。

昭和 40 年代からは、冷害対策の補完作物として薬用植物栽培が提唱された。昭和 39 年には国立衛生試験所北海道薬用植物栽培試験場（現国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター 北海道研究部）の業務が開始され、センキュウなどの委託・試験栽培がされ始めた。昭和 40 年には「生薬栽培組合」ができた。

昭和 45 年には市の主導のもと薬用植物を原料として買い入れ、加工販売するのを目的に北・北海道生薬公社（昭和 46 年に北海道生薬公社に変更）が設立された。これらを背景に昭和 47 年には、薬用植物の生産向上と寒地畑作農業の経営安定を目的に「名寄市生薬栽培組合」が設立された薬用植物は同年には、センキュウ、トウキ、シャクヤクなど 19 畝され、昭和 49 年委は薬用ニンジンを加え、76 戸で 40 畝が作付された。しかし、昭和 50 年から生薬市況の不況と北海道生薬公社経営不振があり、組合員数が減少、昭和 60 年頃までに衰退した。



かつて除虫菊が栽培されていた菊山（旧菊山スキー場）と菊山を背景にした名寄女子職業学校の遠足（昭和 12 年 北国博物館所蔵）



基盤研 北海道研究部 HP

<http://wwwts9.nibiohn.go.jp/hokaidow.html>

2. 現在の生薬等

○名寄市生薬作物研究会

過去の生薬栽培の消長があったものの、平成 25 年、国産の生薬原料のニーズが高まりの中で名寄市における地域資源として、薬用作物に関する機関やこれまでの生産実績に改めて注目し「薬用作物の生産向上と販路の確立を図ること」「生産農家の所得向上と経営安定」を目的に、生産者 18 戸を中心に「名寄市生薬作物研究会」を設立した。

研究会の主要栽培品目は「カノコソウ」で、平成 25 年には 30 a の作付を実施し、翌 26 年には 140 a、現在はカノコソウ 279 a、カンゾウ 33 a の作付となっている。

※カノコソウとは

- オミナエシ科カノコソウ属の多年生草本
- 生薬和名 吉草根
- 国内の産地に自生する植物
- 生薬は根および根茎を乾燥したもの
- 効能 鎮静薬として神経過敏・睡眠薬などに用いる



市内の「カノコソウ」畑

○薬草花まつりの開催

薬用植物資源研究センター北海道研究部は、名寄市と共催で毎年「薬草花まつり」を開催している。シャクヤクの開花時期に合わせて開催しており、市民応募者約 50 名が 5 万平方メートルの施設内で日頃目に触れる機会の少ない薬用植物を観賞できる。

また、職員のガイドによる「場内一周見学ツアー」も行われるなど、毎年、多くの市民が生薬に親しんでいる。



「薬草花まつり」の様子

3. ひまわり観光とひまわり油

名寄市のひまわり畑の歴史は昭和62年に民間団体の試験栽培から始まります。当初は観光目的での栽培が目的ではなく、試験的に行っていたものが口コミより徐々に観光客が訪れ始めた。

面積を拡張しつつ観光地化を推進。平成5年度には近隣農家により「ひまわり部会」が設立し約35ha用地を3つの圃場に区分し、輪作体系を維持し地力を損なわず連作障害を防ぐ目的から、3年サイクルで約10～12haづつひまわりを栽培していた。

大規模ひまわりも平成19年度に、近郊農地の影響を鑑み中止となり、その後、北海道立サンピラーパークに舞台を移し、平成22年度に東宝映画「星守る犬」（主演：西田敏行さん、玉山鉄二さん、川島海荷さん）のメインロケ地となるなど、現在に至る。

当初は輪作体系の一作物として、現在は観光用として発展してきた名寄市のひまわり畑だが、平成22年新品種ひまわりの栽培・搾油事業が民間有志によってスタート、ひまわりによる新たな商品が開発・販売が行われている。



初期のひまわり畑



サンピラーパークひまわり畑



名寄市産ひまわり油「北の輝き」HP

<https://kitanokagayaki.jp/>



ビタミンEはオリーブオイルの約8倍、オレイン酸は国内最高水準の82.1g/100gと豊富に含まれています。

コレステロール	0 mg
ビタミンE	69.7 mg
オレイン酸	82.1 g
リノール酸	6.7 g

栄養成分表示（100gあたり） 日本食品分析センター分析試験結果